

クラス番号	627	担当教員名	後藤 澄江
テーマ	家族の福祉機能の変容に対応した地域での福祉専門職と住民の連携について		
著書・論文	【現在の研究課題】 地域子育て支援システムの構築に向けた連携（つながり、ネットワーク）のあり方 名古屋市「地域委員会」モデルの検証と制度設計		
研究課題等	【関連する著書】 『家族・コミュニティの変貌と福祉社会の開発』（編著、中央法規出版） 『グローバル化と家族・コミュニティ』（編著、文化書房博文社）		

ゼミナール概要

キーワード：家族機能，地域コミュニティ，子育て，介護，連携

私のゼミは，今日の家族による子育てや介護等のケアの現状と課題を把握するとともに，そうした動向への対応として地域コミュニティや行政においてどのような新しい取り組みが必要とされるのかを，若いあなたたちと一緒に調べ，考え，できれば実践に参加することを目的としています。

家族はいつの時代にも，子育ての場として重要な役割を果たしてきました。衣食住の充足はいうまでもなく，子どもの教育や情緒の発達にも大きなはたらきを担ってきました。しかし，今日，そのような家族の機能に黄信号がともっているともいわれます。児童虐待の増加や子どもの社会性の低下といった現象が家族の育児・教育機能の弱体化を暗示するものとなっています。また，今日の家族は高齢者に対してもそのはたらきを変化させています。とくに高齢者介護の面においては，家族はその受け皿を縮小しています。夫婦のみで暮らす高齢者の場合，また，3世代で暮らす場合，どのような支援が必要なのでしょう。

このように今日の家族は子どもや高齢者といった世話や介護を必要とする人に対するはたらきを弱めています。弱まっている家族のはたらきを支えたり補ったりするものとして，地域コミュニティを基盤とした助け合いや行政によるサービスの充実への必要が高まっています。

課題1：どのような条件を抱えた個人や家族が，どのような福祉課題・問題に直面しながら，今日の地域コミュニティの中で暮らしているのか。

課題2：個人・家族の力のみでは解決困難な福祉課題・問題を解決するために，行政・福祉専門職に加え，地域コミュニティを基盤とした住民組織やNPOがどのような取り組みをしているのか。

課題3：課題1と課題2を通して，今日の家族の子育てや介護を支えるには，行政・福祉専門職と住民組織やNPOとがどのような連携（つながり、ネットワーク）を形成することが有効なのか。

進め方についてはゼミが始まる前に顔合わせをして具体的に決めたいと思いますが，2年間のゼミの大きな流れとして以下のように考えています。

<3年次前期>

- ・文献購読と聞き取り調査によって，今日の家族の子育てや介護をめぐる現状や問題点を把握。
- ・地域コミュニティを基盤とした子育て支援や高齢者の健康づくりなどの新しい取り組みについて情報を収集・整理。

<3年次後期>

- ・前期での学習や調査などから生じた問題意識を踏まえて，家族支援や地域福祉に関連した具体的課題を決定。小グループ単位で学習・調査したものを発表。同時に，全体ゼミのなかでの活発な意見交換を実施。

<4年次>

- ・ゼミ論の全員提出をめざして，その作成を中心に運営。また，ゼミ員同士が社会福祉士国家試験に向けて共同で学習。

担当教員からのメッセージ



ゼミは学習の場であることにとどまらず，ゼミ員相互に成長を育む場ですよ。ゼミには，その一員としてのルールと責任を自覚して，自発的に参加しましょうね。その上で，「学び」と「遊び」のメリハリを大切にしたいですね。

議論好きな人，ゼミコンや合宿の企画上手な人，活発で明るい人集まってね。